

富山県における5G×ICTの今後の方向

背景

- ① 5Gの商用サービス開始、ローカル5Gの制度化（基地局、光ファイバ整備）
- ② 人口減少、高齢化進展に直面する地方都市、中山間地域での利活用の可能性
- ③ 新型コロナの感染拡大による、東京一極集中に伴うリスクの顕在化及びデジタルトランスフォーメーション（DX）に向けた取り組みが加速化

方向性

5G・ICTを活用した豊かで暮らしやすい「新たな日常」の実現

取り組み

- ① 人口減少、高齢化の進展に対応した地域課題の解決
 - ・ものづくり産業の高度化
 - ・スマート農林水産業、鳥獣対策の推進
 - ・自動運転、ドローンの活用
- ② アフターコロナ時代の「新しい生活様式」への対応
 - ・新たなスタイルによる観光振興（AR、VRの活用）
 - ・教育、医療・福祉への活用
 - ・芸術・文化・スポーツなどのエンターテインメント体験
 - ・テレワーク、業務のデジタル化
- ③ 相次ぐ自然災害等に対応した県民の安全・安心の確保
 - ・災害、事故の予兆検知による被害の軽減
 - ・被害情報の把握、迅速な避難誘導への活用

課題

- ① **【5G導入に向けた理解促進、意識改革】**

DXに向けた動きが加速する中、県民、企業が5G、ICTのツールを活用するメリット、導入に向けた意識をどう醸成するか。
- ② **【関係者の役割分担】**
 - ・5Gを導入するにあたり、行政、サービス事業者（携帯電話事業者等）、導入事業者（県民、企業）がそれぞれどのような役割を果たせばよいと考えるか。
 - ・補助事業や実証事業を実施した後の事業の継続性、事業展開をどう図るか。
- ③ **【インフラ整備】**

5G基地局及びモバイル端末がまだ普及途上の段階で、5G、ICTの利活用をどう推進していくか。